

2023 年度第 1 次募集小論文出題趣旨

小論文試験は、幅広い知見によって支えられた分析力と論理的思考力、思考の過程および結果を的確に表現する論述力、正義と権利に敏感で、社会・経済に対する強い関心を持ち、そこで生じている問題を発見し、これを適切に処理することができる基本的能力を受験者が有しているかを判定する目的で実施される。

本小論文試験は、次の点を評価するものである。①問題文を正確に読み取って適切にその要点をまとめ、簡潔に表現することができるかという点、②問題文において記述されているところを超えて問題を探索し、当該問題を分析して、その思考過程を表現することができるかという点である。

問題文は、いわゆる人数問題について、総和主義・追加説・均等確率説・公平確率説がいかなる根拠に基づき、どのようにそれに対処するのかを説明している。設問 1 では、上記各説がもたらす帰結を、具体的な数値として把握し、それを簡潔適切に表現することが求められる。設問 2 では、上記各説の根拠と設問 1 でもたらされる結果を踏まえつつ、批判と反論を組み立て、説得的に表現することが求められる。